

令和5年8月9日

青森市政記者会 様

青森市教育委員会事務局文化遺産課長

「救え！シナイモツゴ 又八沼水抜きプロジェクト」の実施について

このことについて、青森市指定文化財「又八沼に生息するシナイモツゴ」の生息環境の改善を目的とした沼の水抜きプロジェクトが、弘前大学名誉教授 佐原 雄二氏を中心に連携団体等と協力して実施されますので、情報提供します。

なお、詳細につきましては、シナイモツゴを守る会事務局（担当：柿崎 孝治氏 電話 090-4887-1907）にお問合せください。

記

- 1 実施日時 令和5年8月19日（土）9時30分頃～15時00分
- 2 実施場所 又八沼（青森市大字羽白字野木和）
- 3 その他 （1）現場が手狭なため、事故防止の観点から取材は事前登録制とさせていただきます。希望される場合は、別添資料により8月14日（月）12時00分までにご回答ください。
なお、駐車場及び具体的な作業内容については、登録されたかたに後日直接お知らせします。
（2）市長の現地視察は、13時00分からはを予定しております。

【問合せ先】

青森市教育委員会事務局文化遺産課
担当：主幹 児玉、主査 石戸谷
TEL：017-718-1392
FAX：017-718-1394

「救え！シナイモツゴ 又八沼水抜きプロジェクト」実施概要について

1 目的

令和2年8月、青森市指定文化財「又八沼に生息するシナイモツゴ」の生息地から、本県には自然分布しない「モツゴ」が発見された。

モツゴは、関東以西を中心に生息しているため、今回発見された自然分布以外の地域に生息するものは「国内外来種」と呼ばれている。

シナイモツゴの生息地にモツゴが混入すると、モツゴのオスとシナイモツゴのメスとの間で自然交雑するという特徴があり、モツゴのオスは、繁殖力が非常に強いため、シナイモツゴ同士の繁殖が阻害され、次第にシナイモツゴからモツゴへと種の置き換えが進み、最終的にシナイモツゴは絶滅すると考えられている。

以上のことから、貴重な文化財であるシナイモツゴの生息環境の改善を図ることを目的とした沼の水抜きを行うとともに、採集したモツゴの利活用を中心とした環境学習を実施する。

2 実施日時及び場所

- ・令和5年8月19日（土）9時30分頃～15時00分
- ・実施場所：又八沼
- ・現地での作業従事者へのインタビュー等の取材については、作業の都合上12時00分～13時00分をお願いします。
- ※作業状況の撮影については、時間指定はありません。

3 その他

- ・雨天等により中止や延期になる場合は、別添資料でご回答いただいた「当日の緊急連絡先」に電話連絡します。

